

12歳以上の方の1・2回目接種

5月11日(水)から、1回目が6月分の個別接種の予約枠を開放します。
※1・2回目をセットで予約できます。

よくある質問

◆小児(5歳~11歳)の接種ではどのような副反応がありますか
12歳以上の方と同様、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱など、さまざまな症状が確認されています。しかし、ほとんどが軽度または中等度です。現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。

問合せ

- ◆電話での予約や相談など
小平市コロナワクチンコールセンター ☎0120(985)365 (月曜~土曜日(祝日を除く)、午前9時~午後6時)
- ◆予約以外の相談など
市役所5階503会議室 ☎042(312)1289 (月曜~金曜日(祝日を除く)、午前8時30分~午後5時)


発熱などの症状がある方 小平市医師会PCRセンターを開設

とき 5月8日以降の日曜日、祝日 午後1時30分~3時30分
ところ 小平市医師会応急診療所(健康センター) 屋外
対象 市内在住の小学生以上で、発熱などの症状がある方
申込み 当日の午前10時から正午までに、電話で予約
予約電話番号 042(346)3706
※詳しくは、ホームページをご覧ください。
📍検索 小平市医師会
問合せ 小平市医師会 ☎042(343)8260 (平日の午前9時~午後5時)

市長のこぼれ話

風薫る5月

5月の時候のあいさつは、新緑や青葉、若葉など緑に関するものが多いです。
小平市はまだまだ緑や畑が多く、この季節は目を和ませてくれる。特に、小平市の木であるけやきの新緑は目にまぶしい。
さて、小平市立の小・中学校の校歌には、緑やけやき、富士山といった言葉がよく並びます。小平市歌にも緑と富士が登場します。小平市歌は市ホームページにピアノ伴奏付きで公開しているの、ぜひ聴いてみてはいかがでしょう。



小平市長 小林洋子

新型コロナウイルス ワクチン接種の情報

新型コロナウイルスワクチンの接種券を順次発送しています。接種券に同封の説明書や小平市ホームページなどを確認し、副反応など、接種の際のリスクを理解したうえで、接種を検討してください。接種は強制ではありません。

接種券の送付日程

令和3年12月に2回目のワクチン接種をした方への、接種券の送付の日程が決まりました。

2回目の接種日	接種券発送日	3回目接種可能日
令和3年12月1日~11日	令和4年5月16日	令和4年6月1日から
12月12日~18日	5月30日	6月12日から
12月19日~25日	6月6日	6月19日から
12月26日~30日	6月13日	6月26日から

※6月分の予約公開日は、決まりしだい、市報こだいらや小平市ホームページでお知らせします。

※2回目の接種日から6か月経過した日以降で予約してください。

(例)2回目の接種日が12月15日の方は、6月15日以降で予約できます。

自然観察会と パネル展を開催

5月22日は 国際生物多様性の日

◆自然観察会 パークレンジャーと行く 春のこだいら生きもの調査隊
特定非営利活動法人NPOびりーの杉山さんと一緒に、小平の生き物を調べます。
とき 5月22日(日) 午前9時~11時
※雨天の場合は、5月28日(土)の午後4時から6時までに延期。
ところ 小平霊園(東村山市萩山町1-16-1)
集合 午前9時 小平霊園管理事務所

清流維持にご協力を 用水路沼さらい

紙はお持ち帰りください)
▽雑貨交換:まだ使えるおもちゃ、ぬいぐるみ(30センチ以内)、育児用品とポケットティッシュとの交換
▽フードドライブ(未利用食品の回収):米、缶詰、インスタント・レトルト食品、パスタなどの乾物、コーヒ、お茶、調味料ほか(未開封で包装や外装が破損していないもの賞味期限が1か月以上先のもの)
※生鮮食品や瓶詰め食品不可。
※回収した食品は子ども食堂、フードバンクで活用します。
※いずれも家庭で不要となったものに限り、回収できないものは、お持ち帰りください。
問合せ 資源循環課 ☎042(346)9535

市では、毎年、用水路近隣の自治会などの協力で、沼さらいを行っています。用水路には、多摩川から導かれた水が流れ、環境資源として潤いと安らぎをもたらしています。用水路をきれいに保つことは、清流の維持へとつながります。ご理解とご協力をお願いします。
とき 5月15日(日)
※5月12日(木)から15日(日)まで
務所前の広場
※調査場所は、状況により変更となる場合があります。
対象 市内在住・在勤・在学の方
※小学3年生以下は保護者と同伴。
定員 15組30人
持ち物 帽子、飲み物、虫よけスプレー
※動きやすい服装、靴でお越しください。草が生えた場所などで観察するため、長袖、長ズボンをおすすめします。
申込み 5月6日(金)から19日(木)までに、住所、氏名、電話番号を問合せ先へ(電話・電子メール可、先着順)
◆生物多様性のパネル展示
市の生物多様性の取り組みのパネルを展示します。

気象キャスターに 学ぶ地球温暖化 気候変動への 適応とは

◆気候変動適応策普及啓発講演会
気温上昇による異常気象は、台風による被害の甚大化や猛暑日が続く気候など、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。
講演会では、気温上昇で発生する影響と被害や、その適応策を、気象

出たごみがカラスに荒らされる
と、家の敷地が汚れてしまいます。
また、ごみが散乱すると、収集に支障が出て、収集時間が大幅に遅れてしまいます。被害を防ぐために、ごみの出し方の工夫をお願いします。
◆えさとなるものを取らない
食べ残しや賞味期限が切れた食べ物でも、カラスにとってはごちそうです。必要以上の食品は買わない、買った食品はきちんと食べ切るなど、生ごみをできるだけ出さない生活を心がけましょう。
また、生ごみ処理機器を利用する

とき 5月17日(火)~24日(火)
午前8時30分~午後5時
ところ 市役所1階ロビー
問合せ 環境政策課 ☎042(346)6818 ☎kankyoseisaku@city.kodaira.jp

ゴミ荒らしなど カラスの被害を 防ぐために

カラスは目見えを探します。そのため、市の燃やすごみの指定収集袋は、カラスの目から中身が見えにくい加工をしています。ごみを出す際は袋の口を結び、中が見えないようにして出してください。ほかに、生ごみを新聞紙などに包んで見えないようにする、防鳥ネットやポリバケツを使うなどの対策をしましょう。
◆カラスから身を守る
カラスは、4月から7月末ごろまでにかけて子育ての期間に入ります。この時期は、卵やひなを守るために大きな声で鳴く、枝や電線をつつく、低空で人の近くを飛んで威嚇することがあります(カラスから威嚇を防ぐには、帽子をかぶるか傘をさすようにしましょう)。
威嚇などは子育ての期間に限ったものです。生活に影響がない場合は、巣立ちまで見守ってあげましょう。
人通りの多い場所に巣ができてしまった場合は、ご相談ください。
問合せ △ごみに関すること:資源循環課 ☎042(346)9535
▽カラスに関すること:環境政策課 ☎042(346)9536

予報士の石樽亜紀子さんが話します。
とき 6月4日(土) 午後2時~4時
ところ ①ルネこだいらレセプションホール、②テレビ会議システム(Zoom)
※駐車場はありません。
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 ①50人、②30人
申込み 6月1日(水)までに、住所、氏名、電話番号、参加方法(①・②)を問合せ先へ(電話・電子メール可、先着順)
※②で参加する方は、電子メールで申し込んでください。
問合せ 環境政策課 ☎042(346)9818 ☎kankyoseisaku@city.kodaira.jp